

## 肝内胆管がん外科的切除例におけるリンパ節転移に関するリスク因子の検討

### 研究対象：

2003年1月1日から2014年7月31日までに国立がん研究センター東病院肝胆膵外科において肝内胆管がんと診断されて手術を行った方々の診療録を対象とし、肝内胆管がんにおける再発リスクやリンパ節転移リスクなどを解析するために情報収集を試みます。

### 研究の概要：

肝内胆管がんは原発性肝臓がんに対して肝細胞がんに次いで多いがんです。根治目的には手術以外ないとされているものの、外科的切除成績も決して良好とは言えません。本研究の目的は肝内胆管がんの中でも肝門部領域胆管がんと分類されない方を検討対象とし、その切除後リンパ節再発のリスク因子などを検討します。このような再発リスクの高い肝内胆管がんの国立がん研究センター東病院、肝胆膵外科における外科的切除を行った治療成績を詳細に検討し、特に予後不良因子とされているリンパ節転移、再発のリスク因子の同定を試みるとともに今後の治療成績、治療戦略の構築に役立てようと考えています。

### 研究の意義：

肝内胆管がんに対するこれまでの治療成績の検討することで今後の外科的治療方針、切除適応について新たな知見が判明すれば本研究の意義は大きいと考えます。

### 目的：

本研究はこれまで行ってきた肝内胆管がんの外科的治療成績を腫瘍因子や原発巣の存在場所などを比較、検討することを目的としています。将来的にはこの研究データの結果が多くの外科医に広く認められれば治療方針の構築に役立つ可能性があり今後の治療成績向上、発展につながるものと考えております。

### 方法：

国立がん研究センター東病院で2003年1月1日から2014年7月31日までに肝胆膵外科において肝内胆管がんの診断にて手術を受けられた患者さんの診療録より、手術治療内容などの条件で合致した方の必要な情報（採血データや手術術式、病理検査データなど）を収集します。情報収集の作業に当たるのは治療を担当した当該診療科の医師です。この作業で収集した情報を通じて治療成績を検証します。

### 個人情報保護に関する配慮：

閲覧する診療録には個人情報が含まれますが、患者さん個人が特定されないやり方で情報を収集します。対象となる患者さんの鑑別は本研究専用で別途割り振られた研究番号を使

って管理し、個人情報が出ることはありません。患者さん等からのご希望があれば、その方の診療録は研究に利用しないようにしますので、いつでも次の連絡先まで申し出てください。

**照会先および研究での利用を拒否する場合の連絡先：**

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

国立がん研究センター東病院 肝胆膵外科 後藤田直人

FAX 04-7131-4724 / TEL 04-7133-1111 (内線 2332)